



# 希望の ひかり

第5回

市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報を隔月連載します

今回は、最近行われたILCの東北誘致を目指したさまざまな取り組みについて紹介します。

## 市内で地質調査説明会を開催

東北大学、県、市が共同主催する地質調査説明会を11月24日、江刺区の伊手と米里の両地区で開催しました。2会場合わせて約120人が来

場しました。

県はILC計画の概要やもたらされる経済効果について、東北大・佐貫准教授は地質調査の趣旨を、調査を行う施工業者は具体的な作業内容を説明しました。この調査結果が、北上山地の地質面での優位性を証明することにつながります。

説明後には、参加者から「建設されるとこの地域がどう変わり、どんな効果があるのか」などの質問が出され、県からは「私たちも世界から集まる研究者やその家族も、皆が快適に過ごせる国際都市を目指してまちづくりをしていく。そのために地域が参画して構想作りをする」とが大切。また、



説明会の様子（米里会場）

江刺区の地質調査予定地



な効果があるのか」などの質問が出され、県からは「私たちも世界から集まる研究者やその家族も、皆が快適に過ごせる国際都市を目指してまちづくりをしていく。そのために地域が参画して構想作りをする」とが大切。また、

付加価値を持った加速器関連産業を東北に誘致して、産業基盤の強化などの効果をもたらしたい」と答えました。他の参加者も次々と手を挙げ「地元が建設を受け入れて、協力していくことが最も大事だ」などの熱い思いを発言していました。

地質調査のスケジュールは、12月から岩盤を調べるボーリング調査や弾性波探査、現地踏査を行う予定です。調査対象となる土地の所有者の皆さんには、調査を受託した業者が個別に訪問し説明します。ご協力をお願いします。

## ILC誘致への願いを込めて 応援看板を設置

奥州商工会議所と市国際リニアコライダー推進連絡協議会では、市民の皆さんや本市を訪れた人にILC計画を広く普及する目的で、市内の国道397号沿いにILC計画応援看板を設置しました。設置場所は、①水沢区羽田町（中袋コミュニティ消防センター前）②江刺区田原（アグリコーポ小田代入口）③江刺区藤里（江刺南中学校駐輪場付近）の3カ所です。看板は、行き交う皆さんの目をぐっと引き付けています。

水沢区羽田町に設置した看板



## 県内外をめぐる動き

■11月9日、8道県の参加する北海道東北地方知事会議が取りまとめた国への提言に、ILCの東北誘致が盛り込まれる

■11月20日、岩手宮城県際セミナーが宮城県栗原市で開催される。奥州市・一関市・宮城県北部の市町が初めて一同に会し、ILCの誘致に向けて県境を越えた連携の重要性を確認

■12月7日、本市に事務局がある「いわてILC加速器科学推進会議」が、ILCによる研究都市形成についてのセミナーを開催。さらに、中学生を対象としたILC読本の発行準備が進められる国内の建設候補地は25年夏までに1カ所に絞られる予定です。市は、東北誘致に向けた市民意識の醸成と地元の熱意の発信に継続して取り組んでいきます。

■本庁政策企画課広域連携推進室（内線417）